

GREEN ニュース

行動する環境アドバイザーの会報

第97号 2024

環境アドバイザー連絡協議会

第13期代表 井上金治

令和6年8月 発行

創刊平成5年7月16日



谷川連邦の大空に舞うアカタテハ。谷川連邦は新潟との国境稜線へと続く山域で、中心の谷川岳（標高1977m）は、日本百名山等の一つ。森林に多く生息するが、夏には少ないアカタテハが舞うほど、豊かな自然に溢れている。

広報委員 山下由紀子

群馬県環境アドバイザーの登録状況（2024年8月7日現在）

第13期（登録期間：2024年4月1日～2027年3月31日）の登録者数は、更新者、新規登録者を含め、合計281名です。自然環境部会152名、温暖化・エネルギー部会119名、ごみ部会90名、広報委員会36名が登録し活動されています。

【目次】

- P2 環境政策課からのお知らせ
- P3 第13期が始まります
- P4 第13期環境アドバイザー連絡協議会代表就任の挨拶
温暖化・エネルギー部会の今期の活動について
- P5 第13期自然環境部会の方向性
ごみ部会は何をする？
- P6 脱炭素まちづくりカレッジ
ホテルの観賞会に参加して
- P7 豊富な水資源を活かした地域密着型「小水力発電所」
井野川の水生生物観察会
- P8 地域環境学習推進事業の紹介
編集後記

群馬県環境情報サイトのURLが変わりました

2023/10/1～



<https://www.pref.gunma.jp/site/eco/>

ECOぐんまのX（旧ツイッター）をフォローしよう！



環境政策課からのお知らせ

群馬県 環境森林部 環境政策課 環境政策係

群馬県環境政策課では、群馬県環境サポートセンターを設置し、県内で行われる環境保全活動の支援を行っています。さまざまな事業がありますので、積極的にご活用ください。

群馬県環境サポートセンターのお仕事紹介



動く環境教室（エコムーブ号）の開催



主に小・中学校の総合的な学習や理科の時間を利用して環境学習を行います。県に登録し研修を受けた環境学習サポーターが講師を務め、エコムーブ号に掲載されている環境学習機材を用いた実験などを通して、環境にやさしい行動を学びます。体験型・参加型の学習で複数メニューがありますので、ご相談ください。

こどもエコクラブの支援

こどもエコクラブは、地域で小中学生が環境問題についてみんなで考えたり、行動したりするクラブです。私たちの地球環境を守るため何かをしたいという友達が参加しています。クラブは幼児1名、大人1名の家族単位から学校単位までとさまざまです。全国事務局も存在し、全国のこどもエコクラブとつながることもできます。群馬県のエコクラブでは、みんなで集まって学習会や交流会などを毎年行っています。



地域環境学習推進事業の実施



民間で活動する環境ボランティア等と県が協力し、環境保全活動への参加促進を図るため、県民に身近な地域での環境学習の機会を提供することを目的とする事業です。年度当初に事業企画を募集し、予算の範囲内で採択された事業を実施していただきます。県民を対象にした多種多様な事業が毎年行われています。



子ども向け

地域環境学習推進事業の実施

子ども向けの環境学習・環境保全活動を推進することを目的として、各地域において開催される学習会・イベント等の場で、環境サポートセンター所有の実験機材等を貸し出し、群馬県環境アドバイザーを講師として派遣し、これらの地域環境学習の支援を行います。



学習教材の提供

こども環境白書、サポートセンター学習資料、動く環境教室実験ノートなどがダウンロードできます。印刷物の提供も在庫の範囲内で実施していますのでご連絡ください。



環境ボランティア 団体の紹介

これまでおよそ140団体以上の団体がホームページを作り、活動を呼びかけています。活動分野・地域・内容などで簡単に検索ができ、ホームページを持っていない任意団体でもページを作れます。この一覧で、無理のない範囲で自分のやりたい活動を探してみてください。



第 13 期が始まります

～活動の輪をつなぎ広げよう～

令和 6 年 6 月 26 日に群馬県庁 2 階ビジターセンターにて令和 6 年度群馬県環境アドバイザー連絡協議会総会が開催されました。総会では、第 12 期の活動報告の説明、役員を選任と承認、会則の変更および令和 6 年度活動計画について審議されました。

総会後の研修では、県庁の関係各課の実施事業において環境アドバイザーに期待することについての説明と群馬県地球温暖化防止活動推進センター センター長の片亀氏をお招きして温暖化対策に係る講演が行われました。

今期も環境アドバイザー皆さまのご活躍を楽しみにしています。

表 第 13 期 役員紹介

役職	市町村	氏名
代表	前橋市	井上 金治
副代表	渋川市	松岡 三吉
副代表	高崎市	田中 和夫
副代表	草津町	反町 忠雄
自然環境部会 部会長	前橋市	国安 俊夫
ごみ部会 部会長	高崎市	奈賀 由香子
温暖化・エネルギー部会部会長	前橋市	本多 洋治
広報委員会 委員長	前橋市	酒井 義明



写真 総会会場の様子

第13期環境アドバイザー連絡協議会代表就任の挨拶

第13期代表 井上金治

代表就任にあたり、改めて環境アドバイザーとは何かを考えてみました。まず、私たち環境アドバイザーは無償のボランティアであり、自らの意思で地球規模で起きている環境問題に取り組んでいる仲間です。現代社会においては、温暖化を伴う気候変動、プラスチックや農薬などの化学物質による汚染、生物多様性の危機など、環境問題は修復が困難なほど深刻になっています。残念ながら、これらの環境問題は個人の活動だけでは解決できません。この問題の解決には、同じ意識を持つ仲間を集める必要があります。環境問題に対して同じ思いを持つ私たち環境アドバイザーは、多少の意見の違いを乗り越えて協力し合えると確信しております。

私たちは、各家庭における生ごみ問題などの小さな活動から、グループとして活発に環境問題に取り組んでいる方々など、さまざまなレベルで活動しています。環境アドバイザー連絡協議会は、このような活動の輪をつなげ、広げる場にしたいと思います。皆様のご協力を期待しております。

温暖化・エネルギー部会の今期の活動について

第13期温暖化・エネルギー部会長 本多洋治

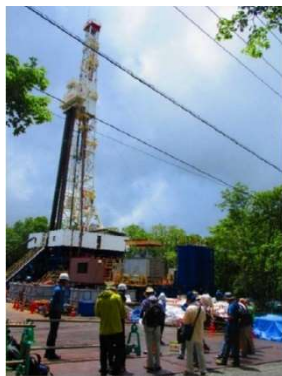
今期、温暖化・エネルギー部会長を仰せつかりました、本多と申します。4名の副部会長とともに、部会メンバーの皆さまのご意見を取り入れながら、13期の活動を進めていきたいと考えています。

12期では、定例会で当部会の活動内容の検討を行うとともに、ワークショップなどを絡めた学習会を開催して広く環境について学ぶことができました。

また、自主活動として、地域環境学習講演会等(群馬県地域環境学習推進事業)を年1回開催したほか、リサイクル事業の現場や地熱試掘現場の見学会なども開催し、省エネや新しいエネルギー開発の取り組みについて知見を得ることができました。



定例会でのSDGsボードゲームの様子(2023.5)



赤城山地熱試掘現場見学会(2023.07)

今期も、前期同様、部会メンバーの皆さまの温暖化防止に関する市民レベルの活動について情報交換し、連携を図

っていける部会を目指してまいります。さらに、この部会の活動が、部会メンバーの皆さま各自で実践されている地域活動に役立つ部会になることを目指していきたいと考えています。今年度も「公共交通やエコモビリティ利用の実践」として、8月12日“みなかみシェアサイクルを満喫”、8月31日“路線バスと徒歩で「アプトの道」を散策”、「地域環境学習推進事業」として、“エシカル消費とエシカル投資・グリーン投資でストップ地球温暖化”講演会等の開催が決定しています。多くの方の参加を期待しています。

この部会は、部会メンバーの皆さまが群馬の温暖化防止の取り組みとして実践してみたいことを実現していける場ですので、取り組みの実現に向けてのお世話役・調整役として、少しでもお役に立てるよう取り組んでいきたいと思っています。今後ともよろしくご協力申し上げます。

第13期自然環境部会の方向性

自然環境部会長 国安俊夫

永年自然保護を仕事としてきた立場として、その経験を活かし地元に貢献したいとの気持ちと、責務もあると考え、部会員の多様性と自主性を発揮できる部会の運営のし方の一例を示すことで、環境アドバイザーになって良かったと提供いただき、次の世代に部会を引き継ぐのが私の役割と考え、13期の部会長に立候補させていただきました。

自然保護の考え方も私が現役の頃とは大きく変わってきていて、昨年3月に閣議決定されて動き出した「生物多様性国家戦略2023-2030」では「ネイチャーポジティブ（自然再興）」など今までになかった考え方が打ち出されており、これからはこれを踏まえた活動を行う必要があるのではと考えています。ただ、部会員の中には様々なお考えの方のいらっしゃる、そのレベルも異なるため、私の考えを押し付け様とは思っていません。

これまで関わってきた様々な団体の運営のし方を参考にしながら部会運営を行うつもりですが、どの程度その成果を発揮できるかは未知数です。部会員の皆様のご協力を頂き、少しでも理想していたものに向けて作り上げてゆきたいと考えておりますのでご協力よろしくお願ひします。

ごみ部会は何をする？

ごみ部会長 奈賀由香子

第13期のごみ部会長となりました奈賀です。副部会長には、前橋の高橋照代さん、高崎の上野和泉さんに引き受けていただきました。部会長・副部会長は部会のお世話係です。どうぞよろしくお願ひいたします。

6月13日に第一回目の部会があり、役員選任と定例会を2か月に一度にするなどの話が決まったくらいなので、部会の活動方針などまだ決まっていませんけれども、これからは地域で活動しやすいように、部会では意見・情報交換や先進地域の活動紹介など行っていければと考えています。ぐんま5つのゼロ宣言の中で「プラごみゼロ」「食品ロスゼロ」が掲げられていますので、やりがいのある分野でもあると思います。ごみは市町村ごとに分別が異なりますので、各市町村の分別については、以下のページで調べることができます。

[一般廃棄物処理実態調査結果：統計表一覧\[環境省廃棄物処理技術情報\] \(env.go.jp\)](https://www.env.go.jp/press/keikaku/20220613_01.html)

https://www.env.go.jp/recycle/waste_tech/ippan/stats.html

最新の令和4年、群馬県集計結果（ごみ処理体制）をクリックするとダウンロードできますので、何を回収しているか、どのように回収しているかなど、いろんなことが分かります。ぜひ調べてみてください！

ごみ先進国、お隣韓国では生ごみのリサイクル率がすでに97%、ニューヨークでも2022年から生ごみ・庭ごみの分別回収を段階的に導入し今年10月には全市内で取り組むとのこと。さてわが国は・・・？

最後に、生ごみが消えるキエーロというものを何年前かに桐生のイベントで自作して以来、我が家ではずっと使っています（写真）。ただの土が入った箱なんですけど優れもの！ご興味のある方はぜひ検索してみてください。



脱炭素まちづくりカレッジ

中部地区（前橋市） 角田正基

昨年度から環境アドバイザー登録させていただきました、前橋市在住の角田正基と申します。

私の主な活動は、既に数十名の環境アドバイザーの先輩方にご参加いただいた「脱炭素まちづくりカレッジ」の講師で、だいたい月1回くらいのペースで県内各地で講師をさせていただいております。また、今年度からアドバイザー会の広報委員として皆さんの活動をグリーンニュースに掲載させていただくことになりましたので、どうか宜しくお願いいたします。



写真 脱炭素まちづくりカレッジの様子

ホテルの鑑賞会に参加して

東部地区（伊勢崎市） 光山達紀

新田環境みらいの会の主催で山梅造園の芳賀さん講師の元、ホテルの鑑賞会に参加しました。私は、幼い頃祖母の家で目撃した以来で、20 数年ぶりのホテル鑑賞となりました。

事前の勉強会では、ホテルの光はメスへの求愛を表現していると知り、自然界の精巧な仕組みや成虫になったホテルは何も食わず、夜露を吸って生きるとは知らなくて驚きました。その後、ビオトープに移動し、夜道を探検しながらホテルのもとへ向かうと…ホテルが光っている様子を見ることができました。止まって光っているホテルや、飛びながら光るホテルもいて、ホテルが乱舞する姿を見ることがとても幻想的でした。大人の私でも滅多に見ることのないホテルにとっても興奮しました。子どもたちもホテルに興味津々で、「あ！あそこにホテルがいる！」「わ～！きれい！」と感嘆の声をあげていました。ホテルが生育しているのは自然が豊かな水辺であり、それは私たち人間にとっても大切な場所です。

これからも、ホテルが生息できるようにそのような環境を守り、育てていくことが必要だと考えます。生息できる環境を粘り強く守り、育ててきてくださった諸先輩方に感謝の気持ちでいっぱいです。今後もこうしたイベントに参加し、自然の魅力を再発見していきたいとともに、これからも環境保護活動に注力していきたいと思っております。



豊富な水資源を活かした地域密着型「小水力発電所」

北部地区（沼田市） 角田 和男

環境負荷の少ない、地域の豊富な水資源を活用した利根沼田地域における小水力発電所のうち、二つの発電所をご紹介します。

【ぐんぎん尾瀬片品発電所（片品村大字土出）】

2023年6月29日に営業運転した「ぐんぎん尾瀬片品発電所」は、片品川支川車沢より取水し、最大出力687kW（一般の家庭約870世帯分の電力使用量相当）を発電します。

地域の環境と共生するデザイン性のある建屋を観光資源として生かすよう工夫されています。例えば、発電所建屋の壁面に設置した大きな窓から発電設備や水車（イタリア製）の内部を見ることができます。車沢の溪流と親しむハイカー達や訪れる人たちに休息場所を提供し、地域に貢献する役割を果たしています。

さらに、東京発電（株）と片品村役場が連携して、環境教育を目的に「学びの場」として活用しています。なお、（株）群馬銀行がネーミングライツを取得しています。

利根沼田方面にお越しの際は、是非立ち寄ってご覧になってください。

【平川小水力発電所（沼田市利根町平川）】

沼田市では、再生可能エネルギー導入の一環として、また地域の活性化を図ることから、平川小水力発電所を建設中です。運転開始予定は2024年12月です。なお、同発電所の最大出力は537kWで、一般家庭530世帯分の電力使用量に相当し、発電による二酸化炭素排出量削減効果は年間1,100トンと試算しています。



写真 ぐんぎん尾瀬片品発電所カード

片品村観光協会公式サイトより

井野川の水生物観察会

西部地区（高崎市） 小峯幸子

高崎地区会では、7月28日（日）高崎浜川運動公園東側の井野川で水生物の観察会を実施しました。

今年も、小学生から大学生、昔のこども達まで30人を超える多くの方々に参加いただきました。前日の夕立ちで増水が懸念されましたが、観察会担当の皆さんが事前に水位などの安全を確認し、昨年と同じ範囲で観察開始です。講師は、いつもお世話になっている土屋清喜先生。川底の石の特徴を教えていただき、「浮き石」の底に付く生物の動きも観察してみましよう、というお話を聞いて先生といっしょに川に入りました。

今回も川幅、流れの速さ、川底の石の大きさや水温などを確認。「とてもきたない水」の目安となる「アメリカザリガニ」、から、「ややきれいな水」の目安となる「コオニヤンマ」のヤゴを含む採取された生物と数から、今年の水質階級も「II ややきれいな水」と判定されました。

高崎地区会では夏の水生生物観察会、秋の川辺の植物観察会を地域環境学習として実施しています。今年の秋の観察会は少し早めで9月21日



（土）に同じく浜川運動公園集合で開催予定です。ぜひご参加ください。

今年度の地域環境学習推進事業に採択された活動を紹介します。

皆さまのたくさんのご参加お待ちしております。

地域環境学習推進事業について詳しくはコチラ⇒



令和6年度 地域環境学習推進事業実施予定事業一覧

No.	事業名等	講座名等	開催日	曜	定員	対象
1	群馬県環境アドバイザー 高崎地区会	会長 原田 邦昭				
		井野川の水生生物調査による水質判定	7月28日	日	30	幼児 以上
2	群馬県環境アドバイザー連絡協議会 温暖化・エネルギー部会 副部会長 金子 昭一	井野川堤防周辺の植生観察	9月21日	土	20	幼児 以上
		エシカル消費とグリーン投資の理解と、ゲームで脱炭素まちづくりを体験する	9月21日	土	50 30	小5 以上
3	南橋の自然観察と環境を守る会 会長 宗 義彦	エシカル消費とエシカル投資・グリーン投資でストップ地球温暖化 ～市民活動と企業活動の連携・連動を考える～				
		桃ノ木川上流域の自然観察会	7月7日	日	50	幼児 以上
		赤城白川下流域の自然観察会と河川敷の清掃	10月6日	日	50	幼児 以上
4	共愛学園前橋国際大学短期大学部食育研究会 代表 木村 祐美	敷島公園冬鳥の観察会	1月26日	日	50	幼児 以上
		エコ・クッキングを学ぼう！（ソーラークッカー体験）	8月18日	日	24	中学生 以下
5	ぐんま森林インストラクター会 会長 根岸 稔	エコ・クッキングで、身近な食生活からエコ活動をはじめよう。（ソーラークッカーを体験してみよう。）				
		小根山森林公園落ち葉を歩く観察会 ～巨木のスズカケノキやケヤキの落ち葉の道を歩こう～	11月16日	土	30	幼児 以上
6	生きものたちの庭ガーデンクラブ 代表 井上 金治	天然の素材を利用しよう	11月17日	日	15	幼児 以上
		自然の力を体験しよう	12月8日	日	15	幼児 以上
7	NPO法人新田環境みらいの会 理事長 西村 豊	新田地域の湧水地周辺の自然環境観察と食品ロス削減についての講演会	10月27日	日	20	小5 以上
		食品ロス削減についての講演会	12月15日	日	30	小5 以上
8	環境カウンセラーズぐんま 会長 内山 恵子	水は群馬の貴重な資源！ 小水力発電所開発の現場を歩く（宣言2・3）	10月予定		20	小5 以上
		耕作放棄地は宝の山！ オリーブ植林による持続可能な循環型農業への挑戦（宣言2・5）	11月予定		20	小5 以上
9	観音山丘陵の自然を守るネットワークの会 会長 近藤 英敏	金井沢の植物と生き物観察会	10月20日	日	20	中学生 以下
		外来種（ニセアカシア）退治と笹狩りクヌギ植栽後の整備と自然観察	2月予定		20	幼児 以上
10	上州ぐんまESD実践研究会 代表世話人 萩原 豪	第7回 上州ぐんま市民環境保全活動発表会&交流会（上州会議2024）～「ぐんま5つのゼロ宣言」と身近なことから始めるESD/環境SDGs活動～	12月14日	土	100	高校生 以上

【編集後記】

今回は、新期ということで新役員や各地区からの声をお伝えしました。今期も皆さまの活躍をお伝えできることを楽しみにしております。たくさんの寄稿よろしくお願ひします。（広報委員長 酒井義明）

GNの発行予定および問い合わせについて

グリーンニュース（GN）は年4回発行します。各号のレイアウトは3月、6月、9月、12月の編集会議で決定される予定です。掲載したい原稿などございましたら下記にご連絡ください。

群馬県 環境政策課 環境政策係 環境サポートセンター 角張

〒371-8570 前橋市大手町一丁目1番1号

TEL 027-226-2827 FAX 027-223-0154 E-mail: kakubari-toshiaki@pref.gunma.lg.jp